9 月報(2026 年) 萌 カトリック福山教会

福山教会活動テーマ：
「喜びをもっていのちをもたらす福音を社会に伝えよう」

〒720-0808　福山市昭和町 7―26
☎【084】923-0614　FAX【084】923-0615
e-mail　：fuku-ch@ktd.biglobe.ne.jp

【白髪は神に従うあなたの道に見出される輝く冠、今日はあなたが主役！！】

～アンナシメオン会を終えて～

集合写真に納まった参加者は46名と神父様　当日欠席4名　対象者は 250 名強

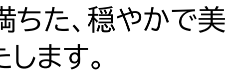
9月6日は教会敬老の日　信仰の先輩方の長寿を寿ぎ共に相互の親睦と友和を計ること、アンナとシメオンの信仰に倣うと共にこれからの健康を願うことを目標に今年も恒例のアンナシメオン会が開催されました　この仕合わせな半日を写真と記録・感想文で振り返ってみようと思います

担当　協働Ｇ　:栗原、梅田、富山

お祝いのメッセージ

　敬老の日、誠におめでとうございます。
長い道のりの中で、主の愛を信じ、真理や善、そして平和を求めて歩んでこられた皆様の美しい姿は、後に続く私たちの道を照らす光です。

　皆様のこれまでのご苦労や祈りの一つひとつが教会の確かな土台となり、豊かな実を結んでいることに深く感謝いたします。年を重ねてさらに深まる神様との交わりの中で、皆様の心がいつもキリストの平和で包まれていますように。皆様のこれからの毎日が、神様からの祝福に満ちた、穏やかで美しい時間でありますよう心よりお祈りいたします。

2026年9月6日　主任司祭 

【スナップ写真と文で振り返る参加者の声】

「アンナシメオン会」に初めて参加して　深津地区　原藤　常香

今年初、アンナシメオン会に参加させていただきました。暖かく、配慮に満ちた準備をしていただき、会場のテーブルごとの、友との交わりや出し物の数々に驚き、ただ嬉しく、楽しいひと時でした。一人ひとりに寄り添ってくださる神様の御手の中で、４６人の大きな大家族の一員として健やかな１日を先輩や友と共に過ごしました。

「謙虚な人の祈りは、雲を突き抜けて行き、それが主に届くまで…彼は祈り続ける。」シラ書 35. [21] 又、「白髪は輝く冠、神に従う道に見出される。忍耐は、力の強さにまさる。」箴言 16. [31] と書かれています。これらの箇所を思って　心に染みた１日でした。

閉会し会場を後にする時には、神父様から一人ひとりにカードが手渡されました。会の初めから終わり迄、「今日の集まりの主役なんだな」と嬉しく思いました。そして「生涯現役」との言葉を改めて思い出しました。できる事は少なくなっていくかもしれませんが。祈りで支えていけるアンナシメオン会に迎えられたと思い感謝しました。皆様ありがとうございました。

「アンナシメオン会」に参加して　（匿名希望）

アンナシメオン会に参加させていただいて〇年、今年も盛り沢山の催し物を計画していただきありがとうございました。また、企画してくださった先輩・同世代の方々に感謝の一言に尽きます。
アンナシメオン会のみことばも意識しないで使っていました。残された人生をアンナシメオンにあやかりたいです。

フィリピンの方々の力溢れる踊り。いつも侍者をしてくださる、小さなお友達の一生懸命に踊る姿。また、あっと驚く隠れた一芸や美しいハーモニーに教会の温かいぬくもりを改めて感じたひとときでした。

グループ分けでは、日頃お話する機会のない方とも親しくなり社会勉強もさせていただき有意義な時を過ごすことが出来ました。お世話になりありがとうございました。

「アンナシメオン会」に参加して　府中地区　松坂　慈子

フィリピンの方たちの楽しいリズム体操に始まり、頑張って披露して下さった歌や手品やダンス・・・。
テーブルに用意して下さったお寿司や唐揚げやお菓子や飲み物をおいしく頂きながら楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

遠かったりご不自由だったりで普段なかなか来れない方々も来て下さって、お会い出来ましたことが、何より嬉しいことでした。

ミカエル神父さまの霊名のお祝いも出来、ステキな神父さまのお歌も聴くことが出来ました。
帰りには、皆さんとご一緒の写真と神父さまのサイン入りのお祝いのメッセージまで頂き・・・至れり尽くせりの会・・・お世話して下さった方がたの・・・皆さまの愛が伝わり・・・とても元気になりました。
ありがとうございました。

フィリピンダンス「サザエさん体操」に興じる参加者　まだまだ若い！

【スナップ写真と文で振り返る出演者の声】　吉田　和美

ドキドキのマジック！

2つでいい？私でいい？失敗したらどうしよう等など事前の不安が吹き飛ぶほど皆様の温かい笑顔とご協力に救われ、胸がいっぱいです。

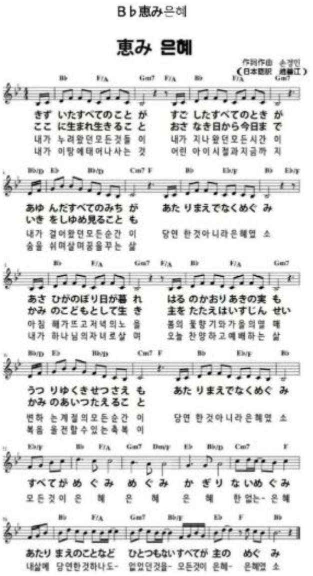
歌うなら「今でしょう」～ウクライナ戦争の早期平和を願って～　冨田　恵子

「時は流れる光のなかにあふれる悲しみを胸に抱いて、探し続けた愛はむなしく、巡り会いし遥かな人」で始めるシャンソン『ひまわり』は 1970 年に上映されたイタリア映画の主題歌です。今戦争で悲惨な状況のウクライナのひまわり畑が舞台になっています。

音程もとれず、リズムも合わず、なんでシャンソンなんて習ったんだろうとおもったこともありましたが、ウクライナで戦争が始まり私

のシャンソンの先生が、この「ひまわり」を歌われた時　「ああこの歌いいな」と思い昨年挑戦しました。

この度のアンナシメオン会でかなり恥ずかしかったのではありますが、歌うなら「今でしょう」と思い初エントリーしました。戦争で離別を余儀なくされる夫婦映画のシーンを思い出しながら…きいてくださってありがとうございました。



ミカエル神父さんの『恵み』の歌のフレーズが頭から離れません「アンコール！」の喝采

サザエさん体操に始まるフィリピンダンス　曲目を変え衣装を変えて　ダンスを飽きることなく　楽しませてくれました

【Enjoy　Dancing】　　　　　　　　**フィリピン共同体　鶴田　ベルーナ**

一番の理由は、ダンスが大好きだからです。そして、福山教会には長年、特に高齢者の日の行事などに招待していただいています。教会だけでなく、福山の様々な場所でボランティア活動をすることも、とても楽しいです。同胞の皆さんとイベントを通して繋がることで、誰もが参加できる、どこでも参加できるという素晴らしい機会と道が開かれます。このことを皆さん

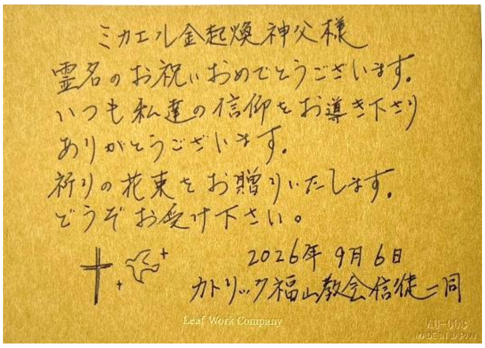
に伝え、私たちは世界でたった一人、一つであり、同じ存在であることを皆さんに知っていただきたいです。また、私に与えられた時間、そしてあらゆる機会と信頼に感謝しています。

【天国への貯金を増やせるようファイト！！】　　春日地区　池田　ユキノ

　アンナシメオン会敬老デビューから３年。毎年何かを歌わせてもらっていることに感謝です。
「みんなで歌おう心を１つにして」と始まる『マイバラード』大好きな曲です。「老若男女それぞれの国の人たちが心を開いて１つにして歌い、語り合うことができれば」との願いを込めて鶴田さんと歌わせていただきました。ハーモニー的にはまだまだ。心はきっと通じてもらえたかな。飛び入りで参加させていただいた阿部ちゃんと歌えたこと、真心からの祈りが歌うことによって、ミカエル神父さんや皆さんに届いてくれたことが嬉しかった。

　ミカエル神父さんの『恵み』の歌のフレーズが頭から離れません。天国への貯金を増やせるようファイトです。
　MC担当の富山さんありがとう。

【金神父さまの霊名のお祝い】


ミカエル金起煥神父様
霊名のお祝いおめでとうございます。
いつも私達の信仰をお導き下さり
ありがとうございます。
祈りの花束をお贈りいたします。
どうぞお受け下さい。
2026年9月6日
カトリック福山教会信徒一同

ミカエル金神父様の霊名の
お祝いも会の終わりにできました

【振り返り】

○参加者が定例委員会メンバーという事で受付スタッフを務める集い　生涯現役で働いている
○それまでの異常酷暑で「救護所」（冷房・元看護師・経口補水液等）を設けて臨んだがいい意味で空振り　天気に恵まれた　神に感謝
○記念品として紅白饅頭・主任司祭メッセージ・当日集合写真を提供できた
○ほぼ予定通り　前半後半の間に　おしゃべりタイム（飲食）が入ったのが好評だった
以上

【南相馬便り92　2026年9月】　　援助マリア修道会　南相馬修道院　北村令子

福島民報　2026年（令和8年）4月27日（月曜日）　(4)

ウクライナ・チョルノービリ

原発事故40年 危機続く

戦時下でロ攻撃　廃炉も見通せず

福島原発に比べ チョルノービリ

放射性物質 放出量6倍

政府対応も大きく異なる

チョルノービリ原発		福島第1原発
試験運転中に制御不能になった原子炉が爆発	事故状況	津波の影響で原子炉が冷却できずにメルトダウン（炉心溶融）や水素爆発が発生
520万テラベクレル	放出された放射性物質の量	90万テラベクレル
数十人	急性放射線障害による死者数	なし
原発30キロ圏内（立ち入り禁止区域）	立ち入り制限	原発20キロ圏内
11万人以上	避難者数	約16万人 福島県 2012年5月時点

原発回帰 世界で加速

軍民両用技術 日米協力へ

チョルノービリ原発事故から40年の4月26日の記事が福島民報4月27日に掲載されました。

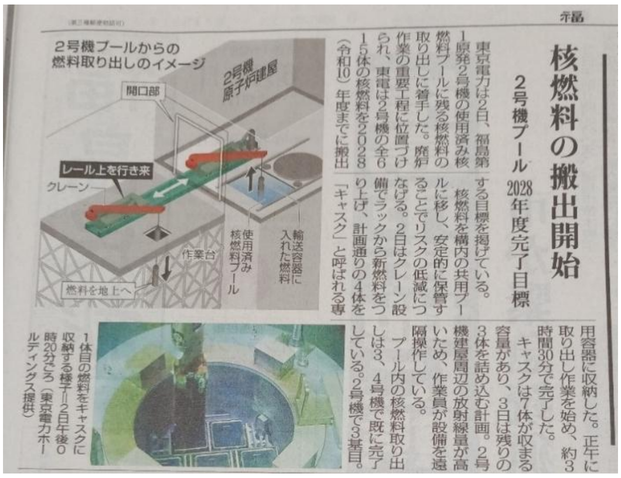
史上最悪と言われた、チェルノービリ原発事故の教訓もあまり役に立たず、東京電力福島第一原発もはじめは大ごとではないような報道でしたが、だんだんとチェルノブイリ原発事故に匹敵するほどの重大事故と言われるようになりました。事故直後は脱原発の空気が強くなっていたにもかかわらず、「のど元過ぎれば熱さを忘れる。」とはよく言ったもので、「原発回帰　世界で加速」と報道されています。

東電の福島第一原発の事故後、世界で一番早く脱原発を宣言した国、ドイツは、自国の原発を止めたとしても、ヨーロッパの電力供給網の仕組みによって、他国の原発で発電された電力を受給することで、しのぐことが出来るようになっているので、あまり称賛されることでもないかなと思います。

日本の原子力発電所は、13道県に廃炉や運転停止のものも含めて、18箇所に、53基の原発があります。その内の14基は40年を超過しています。現在稼働しているのは、15基。この小さな国、地震大国である日本列島に53基もあるのです。（福島第一原発廃炉中6基を含まず）

廃炉中が東電第一原発を含めて24基。廃炉にかかる年数と費用、それに廃棄となると核燃料の処分場の問題、地下深く埋めたとしても 10 万年安全なところが日本のどこにあるのでしょうか？（数字は東京新聞2024年12月「全国の原発の状況」から抜粋）

原発推進という時、後始末のことも考えること、後世の人たちの負担がどれほどになるのかまで考えるべきと思います。　　（↓2026.6.3福島民報誌）



核燃料の搬出開始

2号機プール 2028年度完了目標

東京電力は2日、福島第1原発2号機の使用済み核燃料プールに残る核燃料の取り出しに着手した。廃炉作業の重要工程に位置づけられ、東電は2号機の全615体の核燃料を2028（令和10）年度までに搬出する目標を掲げている。

核燃料を構内の共用プールに移し、安定的に保管することでリスクの低減につなげる。2日はクレーン設備でラックから新燃料をつり上げ、計画通りの4体を「キャスク」と呼ばれる専用容器に収納した。正午に取り出し作業を始め、約3時間30分で完了した。

キャスクは7体が収まる容量があり、3日は残りの3体を詰め込む計画。2号機建屋周辺の放射線量が高いため、作業員が設備を遠隔操作している。

プール内の核燃料取り出しは3、4号機で既に完了している。2号機で3基目。

1体目の燃料をキャスクに収納する様子＝2日午後0時20分ごろ（東京電力ホールディングス提供）

東京電力は福島第一原発2号機の使用済み核燃料プールに残る核燃料の取り出しに6月2日に着手した。2号機建屋の周辺は放射線量が高いため、作業員が遠隔操作でしている。2号機の615体の核燃料を2028年度までに搬出する予定。これはデブリ（溶融核燃料）の取り出しとは違います。

宮城県の女川原発、世界最大出力と言われる新潟県の柏崎刈羽原発が再稼働しました。

地震、津波、台風など自然災害の多い、そして大型化している災害を考えると、真剣にこの問題に取り組むべきと思います。

わたしの召命物語（続編）

天高く馬肥ゆる秋
どこまでも澄み切った青空。

澄み切った青空から、なぜか私は自分の修道名の「泉」を連想するのです。

旧約聖書の創世記１章６～７節に、「神は言われた。『水の中に大空あれ。水と水を分けよ。』
神は大空を造り、大空の下と大空の上に水を分けさせられた。」とあり、旧約時代の人は、雨が上から降ってくるから、天の上にある水が大空で、下に集められた水が海と考えていたのでしょうか？？

それで、澄み切った青空に、私は澄み切った泉を連想するのです。

それまでは修道名は聖人や聖人にちなんだお名前をいただく習慣でしたが、その習慣を破って、日本名を命名してくださったのは、修練長のシスターマリーフランシスです。シスターフランシスは、私たちが高校３年生の時の学年主任でした。私たち７期生の卒業名は「愛子会（あいしかい：愛された子、愛する子）」です。そしてイエスのみ心は、愛の泉ということで私の修道名を、シスターマリー泉とつけてくださいました。祝日は愛の泉であるイエスの聖心の祝日です。

また私が、入会前に会社に勤めていた時、「泉の会」という集まりを作って活動していたこともあって、この名をくださったのだと思います。

以前書いたように、私は大学進学をせず、西宮の幼稚園の助手も２か月で逃げ帰り、通信制の大学も途中で放り投げ、知人の善意にすがって、ちゃんとした会社に就職できるまでと本屋さんに雇っていただき、19 歳の１月に、日本鋼管（現在の JFE）誘致の会社に本採用されました。

その当時、母子家庭の子供の就職差別があった時代です。よく採用していただいたと感謝しています。でも、大手の都市銀行に採用された同級生が、「毎日お茶くみばかりさせられて、ちゃんとしたお仕事をさせてもらえない」と愚痴をこぼしているのを聞いて、就職した友達と話しているとどこも同じような感じで、若い女性職員には責任を持たせてもらえない、というのがほとんどの状況だということを知って、何とか声を上げることが出来ないか思案しました。

ある雨の日に、会社の窓を伝う雨水を眺めて、小さな雨粒がツツーと集まって流れになるのを見て、ハッと気づきました。小さい声でもみんなで集まれば、何か良い知恵が浮かぶのではないかと、同級生に声をかけて、「泉の会」を発足させました。暁の星の同窓会室をお借りして、数人の同級生が集まって、自分たちの職場の現状を話し合い、解決できそうな課題から、職場の上司に相談していくよう皆の力で解決できることは訴えていこうと、小さなことから職場の改善に取り組もうと励ましあっていました。この泉の会のことをシスターマリーフランシスは覚えていてくださったのだと思います。

「神は、私たちの生命の泉であり、究極の目的です。だからただひたすら神のもとへ行かなければなりません。どんなことをしても、常に神を泉とし、目的として眺め、万事において神のもとへ行き、神のために行動することは、何と堅固な生活の基礎でしょう。それは、自分自身にも、どんな被造物にも左右されないで、物事の神髄をつかむための確かな基礎です。」（マリーテレーズドスビランの祈り）

こうして、この祈りを深く味わうことが出来るのです。

今日はここまで、皆様お元気で！！

【9月・10月の行事予定】

<table>
<tr><th colspan="2">９　月</th><th colspan="2">１０　月</th></tr>
<tr><td colspan="2">すべてのいのちを守るための月間 9/1～10/4</td><td>4(日)</td><td>日曜学校</td></tr>
<tr><td rowspan="3">6(日)</td><td rowspan="3">アンナシメオン会
ミカエル金神父様霊名のお祝
日曜学校始業式</td><td rowspan="2">16(金)</td><td>教区召命合同祈りの集い</td></tr>
<tr><td>世界宣教の日</td></tr>
<tr><td>18(日)</td><td>14 時～墓地ミサ</td></tr>
<tr><td>14(月)</td><td>十字架称賛</td><td>24(土)</td><td>司教司牧訪問　活動報告</td></tr>
<tr><td>21(月)</td><td>広島教区の日・金銀祝</td><td>25(日)</td><td>堅信式</td></tr>
</table>

【編集後記】

今年のアンナ・シメオン会も盛り上がりましたね！出演された方々の踊りや歌や手品など一緒に楽しめるものばかりで、皆様がとっても良い笑顔で過ごされて、久々に会った友人たちとの会話も弾んで良い時間を共有できて良かったです。ともに会食することが兄弟姉妹の繋がりになりそれが広がって教会全体がまとまっていくように感じます。準備してくださった役員の方々と参加してくださって皆様、そして動画配信で繋がっているきょうだいたちと参加できなかった皆様ともいつも心が通じあう教会でありますように…

（M・H）